

58-602

フェルトパンチャー
<3本針>

4 901316 586027

針が3本セットできる持ちやすいボディで、
羊毛フェルトの作品がスピーディに仕上がります。
※布地へのアップリケにも使用できます。

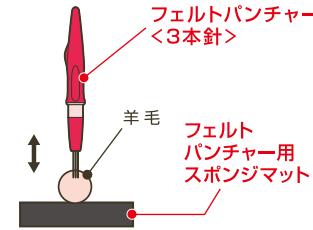
**用途に合わせて
針の数をチェンジ
できます。**

1~3本に針の数を調節できます。

**使 い 方**

フェルトパンチャーで
羊毛を刺して固めます。

△ 鈎先は大変鋭利なため、危険です。十分に注意してください。

**適した素材**

- ・羊毛(クロバー「パワール」など)
- ・フェルトシート(ウール50%以上)
- ・ウール地
- ・毛糸

羊毛刺しゅう・アップリケをするベースの布地

- ・中厚～厚地ウール(フランなど)
- ・フェルトシート(ウール50%以上)
- ・普通～厚地コットンなど

※ ポリエスチルなどの化繊は纖維が絡みにくい場合がありますので、事前にお試しください。
※ 繊細な素材(シルク・サテンなど)はお避けください。

羊毛刺しゅう・アップリケをする前に、必ず共布でお試しください。

△ 鈎先は鋭利なため、小さなお子様はご使用にならないでください。

※ 別売の「フェルトパンチャー用ブラシマット」または「フェルトパンチャー用スポンジマット」をあわせてご使用ください。

- ・纖維が切れやすい布地や、パンチング後に針あとが目立つ布地へのご使用はお避けください。
- ・素材や布地の厚さなどにより、羊毛やモチーフのつきやすさ、裏面への出やすさが異なります。
- ・羊毛刺しゅうやアップリケをした布地を洗濯するときは、ドライクリーニングか、ウール用洗剤を使用し、やさしく手洗いしてください。

針を交換する場合は

別売の「フェルトパンチャー替針」シリーズをお買い求めください。

※ 出荷時に本体にセットされている針は、「フェルトパンチャー替針レギュラーナイフ」です。



台紙 フィルム:PET

ご使用前に、パッケージ中面の
「使い方」「使用上の注意」を
必ずお読みください。

▼ 製品に不都合な点がございましたら、
お買上げ店名をご記入の上クロバー(株)
「お客様係」まで現品をお送りください。
代品をお送り致します。

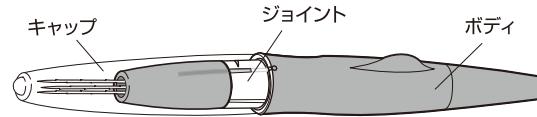
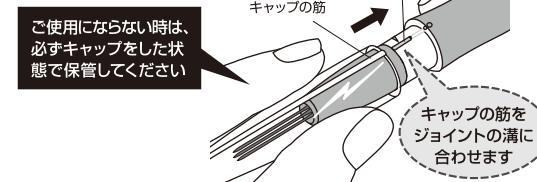
クロバー株式会社
〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5
「お客様係」TEL.(06)6978-2277
MADE IN JAPAN
(針:MADE IN CHINA)

ご使用前に…

※ 先端に入っている防錆紙は取り除いてください。

針には防錆油が付いています。

そのままご使用になると、作品が汚れることがありますので、あらかじめ
不用な柔らかい布地に数回パンチングして、防錆油を取り除いてください。

<各部の名称>**<キャップの取りつけ方>****使 い 方**

※ パンチング作業は、できるだけマットの中央で
行ってください。

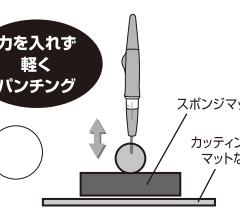
▶ 羊毛刺しゅうやアップリケの場合

※ クロバー「ふわふわウールのアップリケフレーム」には使用できません。

- ① 「フェルトパンチャー用ブラシマット」または「フェルトパンチャー用スポンジマット」にベースの布地をのせて、羊毛やアップリケのモチーフを配置します。
- ② 羊毛やモチーフを指などで軽く押さえ、「フェルトパンチャー」で輪郭をパンチングしていきます。
ベースの布地についてきたら、全体を均等にパンチングします。

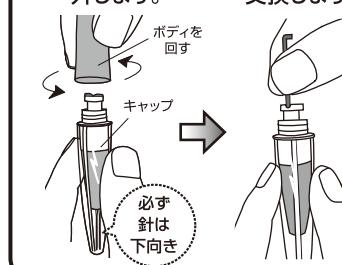
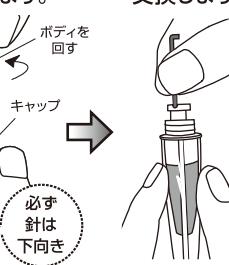
**▶ 立体作品の場合**

「フェルトパンチャー用ブラシマット」または「フェルトパンチャー用スポンジマット」に丸めた羊毛をのせて、全体をまんべんなくパンチングし固めます。

**● 針の交換について**

曲がった針をそのまま使用すると
折れるので、新しい針に交換してください。

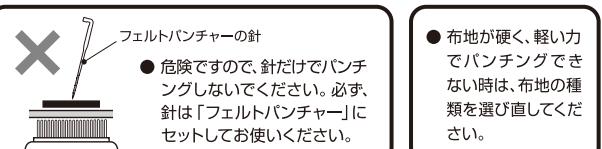
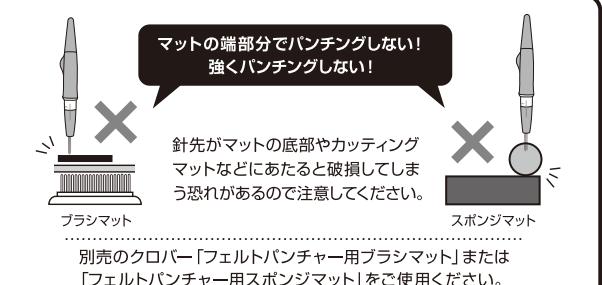
※ 安全確保のため、針の交換は必ず
キャップをした状態で行ってください。

① ボディを外します。**② 針を交換します。**

△ 注意
安全確保のため
取り扱いに
ご注意ください。



針を交換する場合は、別売の
クロバー「フェルトパンチャー替針」
をお買い求めください。

——針の破損防止のために——**使用上の注意**

- ・フェルティング以外の用途には、使用しないでください。
- ・羊毛刺しゅう・アップリケをする前に必ず、共布で試してください。
- ・保管の際は、必ずキャップをして、幼児の手の届かない場所に保管してください。
- ・本製品を長期間保管する場合は、針の防錆のため、ミシン油を含ませた布地をパンチングしてから保管してください。

ご使用の際は、針先に十分注意してください。
(針は大変鋭利なので針先に触れないでください)